

第7回技術者倫理セミナー報告【香川】

R3.7.13

倫理小委員会副委員長 丸山 正

令和3年7月13日(火)高松市「ホテルパールガーデン」において、令和3年度年次大会開催後、第7回技術者倫理セミナーを行った。参加人数は、80名(会員80名)であった。開催予定のCPDセミナー・公開講座は、新型コロナウイルス対策による時間短縮のため、やむを得ず中止した。

演題:「倫理の観点から見る次亜塩素酸水溶液の開発と活用」



講師：小野朋子 様

香川での技術者倫理セミナーは、株式会社エイチ・エス・ピー取締役研究開発部長の小野朋子様に講師をご依頼した。小野先生は社内において、除菌や消臭の商品開発を行い、誰もが想定しなかった新型コロナウイルスに効果的な次亜塩素酸水溶液の開発と活用について、講演していただいた。

次亜塩素酸は、高い殺菌・消臭・ウイルス不活化効果があり、すでに医療、福祉・保育施設、食品などにおいて施設内清掃、手洗い、空間除菌消臭などに用いられている。

手洗いなど電解水として使用される場合は、ノロウイルス・インフルエンザウイルスに対して有効であることが実証されており、噴霧・霧化・気化した次亜塩素酸は、殺菌・消臭効果を有する。

アルコール等の消毒剤の不足に伴い、独立行政法人製品評価技術基盤機構(NITE:ナイト)が新型コロナウイルス対策として効果のある資材の探索を開始するものの、令和2年5月29日の中間報告では、次亜塩素酸水の有効性が認められない評価であったが翌6月、効果が認められる。



講演状況

小野先生は、企業として自治体に次亜塩素酸水溶液を配布、救世主としての役割を果たしていくことになる。さらに噴霧器をはじめ、生成装置の需要にも対応していく。

次亜塩素酸水溶液を普及させていく上で、製法・原料の明記といったエビデンスも示され、表示の適正化も普及と同時に進んでいくことになった。

講演内容は、技術士倫理綱領に記載されている公益の利益の優先、真実性の確保、公正かつ誠実な履行などに基づいた企業として、倫理あふれる模範的な取り組みについて、謙虚に述べられていたのが印象的である。

新型コロナウイルスというパンデミックから生じた消毒液不足に対し、次亜塩素酸水溶液で一企業として、みんなのために挑んだ物語は、後世に残すべき映画になってほしい内容であった。

〈アンケート結果〉

アンケートは、49名の提出があった。

今回の香川では、参加者の50代・60代が圧倒的に多く、技術者倫理セミナーの参加回数も増え、大きく定着しつつあることがわかった。そのような成果もふまえ、技術士倫理綱領については認知度が高いことがいえる。

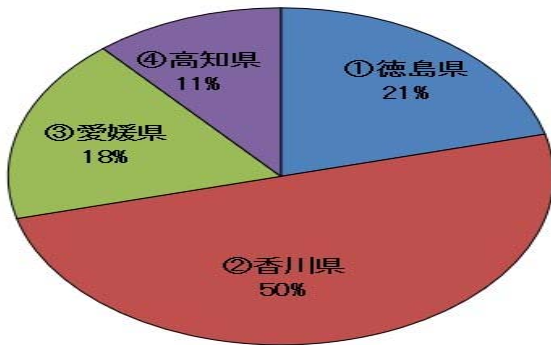
中でも今回の技術者倫理セミナーの参加感想で①非常に良かった②良かったの回答が94%で、好評であったと自負している。倫理セミナーの望ましい進め方として大きくは、講義形式と講義・ディスカッション併用に分かれたが、結果的には講義形式で良かったと考えている。



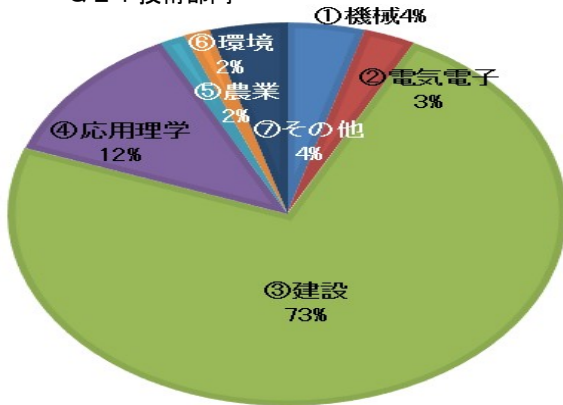
講演状況（ソーシャルディスタンス・千鳥配置）

アンケートの集計結果は、下記グラフのとおりである。

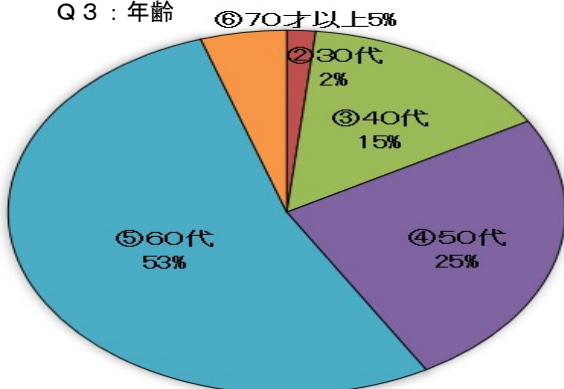
Q 1 : 主たる活動県



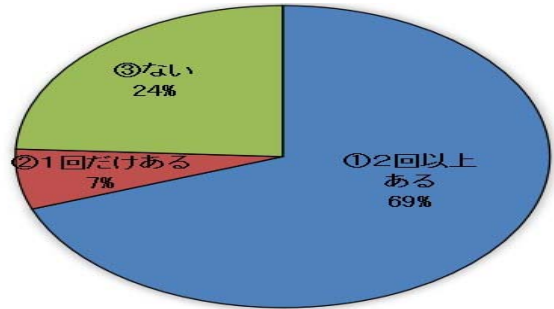
Q 2 : 技術部門



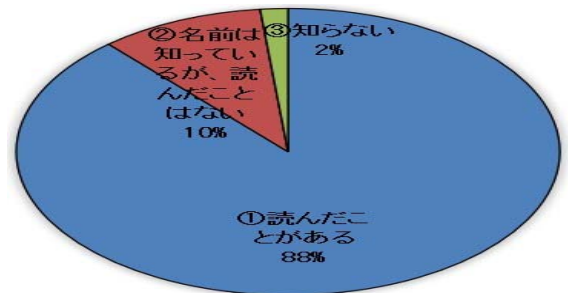
Q 3 : 年齢



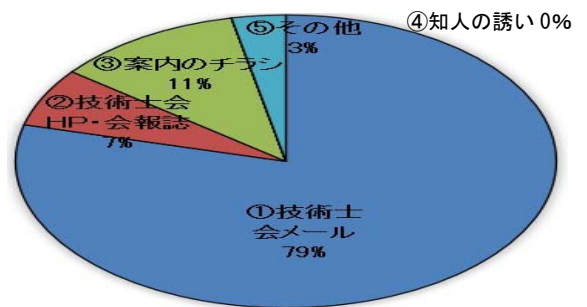
Q 4 : 技術者倫理セミナーの参加回数



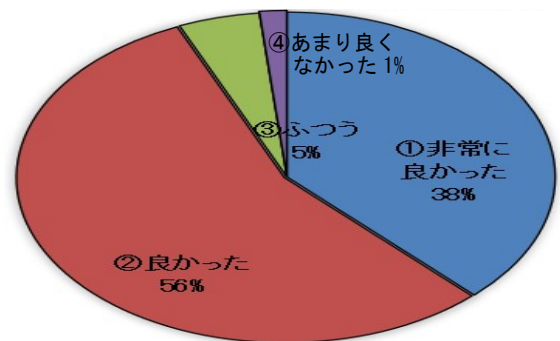
Q 5 : 技術士倫理綱領をご存じですか



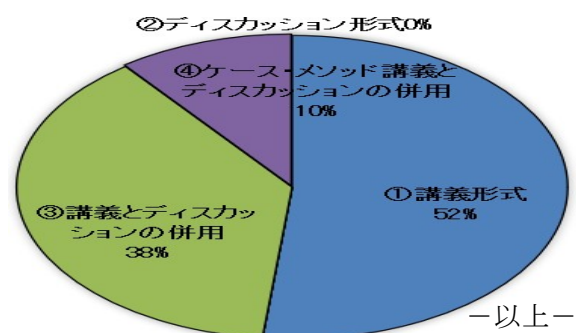
Q 6 : 技術者倫理セミナーを知った方法



Q 7 : 本日のセミナーの参加感想



Q 8 : 今後のセミナーの方式の希望



—以上—